

第四回大東亜戦争を  
考える講演会

波多野澄雄 (筑波大学名誉教授)

# 大東亜戦争をどう考えるか

「主体的意思を持って戦ったがゆえに  
民族が継承すべき何かがある」



日時 令和4年(2022年)9月11日(日) 午後1時30分開場 午後2時開演

会場 文京区民センター2階A会議室(東京都文京区本郷4-15-14)

東京メトロ丸の内線・南北線「後楽園駅」5分 都営「春日駅」1分

会費 1,000円 予約必要ありません

## 波多野澄雄氏 談

日米開戦後、支那事変を加えた大東亜戦争は批判されるべき面もあるが、日本人がアジアの運命を打開するため、主体的意思を持って戦ったがゆえに、民族が継承すべき、あるいは顕彰すべき何かがあるのではなないか、という問いは現在でも重いものがある。

この問いを、4つの戦場(中国大陸、太平洋、東南アジア、北方)と、戦争をめぐる国際的争点(国際秩序のあり方、植民地主義、覇権争い等)が交錯する「複合戦争」としての大東亜戦争という視点から考えてみる。

### 経歴

昭和22年、岐阜県生まれ。筑波大学名誉教授。

専門は日本政治外交史。慶応義塾大学大学院法学研究科博士課程修了。

博士(法学)。

防衛庁防衛研修所戦史部(現・防衛省防衛研究所戦史研究センター)所員、筑波大学助教授、教授、副学長、ハーバード大学客員研究員などを経て現職。

著書に、「幕僚たちの真珠湾」(朝日新聞社)、「太平洋戦争とアジア外交」(東京大学出版会)、「歴史としての日米安保条約」(岩波書店)、「国家と歴史」(中央公論新社)「宰相 鈴木貫太郎の決断」(岩波書店)『決定版大東亜戦争』上下(共著、新潮新書)など。



(上下)合本版



アジア民主化運動

Asian Democratic Movement

主催 小島孝之(アジア民主化運動代表) 連絡先 03-5840-6460 kasiademo@fij.tokyo

後援 新しい歴史教科書をつくる会

賛同者(50音順) 荒岩宏奨(展転社代表取締役) 荒木和博(拓殖大学海外事情研究所教授)

小野寺彰(文京区の学校教育を考える会会長) 川端幸夫(集広舎代表) 込山久夫(新しい歴史教科書をつくる会東京支部長)

小林秀英(チベット問題を考える会代表) 齊藤文彦(東京郷友連盟) 佐藤和夫(英霊の名誉を守り顕彰する会代表)

鈴木信行(前葛飾区議会議員) 高池勝彦(新しい歴史教科書をつくる会会長) 藤岡信勝(通州事件アーカイブス設立基金代表)

藤田裕行(翻訳家 国際ジャーナリスト) 村田春樹(今さら聞けない皇室研究会顧問) 茂木弘道(史実を世界に発信する会代表)